

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年6月27日 第12報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira solida</i>	200		
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	120		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	40		○
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	40		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	240	○	
(緑) <i>Oocystis lacustris</i>	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	20		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	280	◎	◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	460	32.9	4.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	2.9	21.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	14.3	6.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	700	50.0	67.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1400	総体積	5.56E+06
種 類 数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Micractinium pusillum</i>	240

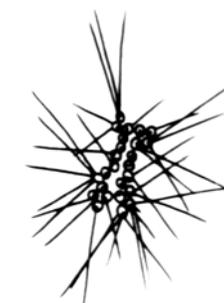
植物プランクトン第1優占種



***Closterium aciculare*
var. *subpronum***
(ミカツキモ)

緑藻綱
夏季に非常に多く増殖する。琵琶湖で最も多く見られるプランクトンの1つである。

植物プランクトン第2優占種



Micractinium pusillum
(ミクラクチニウム)

緑藻綱
細胞は球形または幅広い楕円形で、杯状の葉緑体と1ヶのピレノイドを有す。各細胞は数本の細長い突起を持ち、群体をなす。